

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である富士通エフ・アイ・ピー株式会社が、平成22年12月1日に横浜データセンターを開設いたしました。これにより同センターが新たに当社グループの主要な設備となりました。同センターの設備の状況は、次のとおりです。

テクノロジーソリューション

平成22年12月31日現在

会社名及び事業所名 (所在地)		設備の内容	投下資本（百万円）					従業員数 (人)
			建物 及び 構築物	機械 及び 装置	工具、 器具及び 備品	土地 (面積千㎡)	合計	
国内 子会社	富士通エフ・アイ・ ピー株式会社 横浜 データセンター (横浜市都筑区)	アウトソー シング設備	6,548	—	338	— (13)	6,886	13

- (注) 1. 投下資本は平成22年12月31日現在の帳簿価額によります。なお、投下資本の合計額には、建設仮勘定は含みません。投下資本の期末帳簿価額にはリース資産の期末帳簿価額を含みます。
2. 投下資本の機械及び装置には、車両及び運搬具を含みます。
3. 富士通エフ・アイ・ピー株式会社横浜データセンターの土地は賃借しているものです。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、第2四半期連結会計期間末日時点の計画から設備の新設、除却等の計画について、昨今の厳しい事業環境に鑑み、テクノロジーソリューションの設備投資額を100億円減額する見直しを行いました。

セグメントごとの内訳は、以下のとおりです。

セグメントの名称	金額 (億円)	設備等の主な内容・目的
テクノロジーソリューション	900	国内データセンター設備及び英国におけるアウトソーシング設備
ユビキタスソリューション	200	パソコン、携帯電話及びオーディオ・ナビゲーション機器等製造設備
デバイスソリューション	400	L S I 製造設備及び電子部品製造設備
その他、全社共通	100	全社情報通信関連設備及び基礎研究設備等
計	1,600	

- (注) 1. 所要資金1,600億円は、主として自己資金により充当する予定です。
2. 設備投資の計画額は、消費税抜きで表示しております。
3. 経常的な設備の更新のための除・売却を除き、重要な設備の除・売却の計画はありません。
4. その他には、当社グループ各社へのサービスを提供する子会社等が含まれております。